

ごみ行政の流山市の取り組みについて (食品ロス・高齢者ゴミ出し支援等)

第16回「議会報告会」市民経済常任委員会(3班)

菅野浩考・石原修治・海老原功一
森亮二・西川誠之・植田和子・野村誠

場所 : 北部公民館

時間 : 14:00 ~

廃棄物処理施設の概要

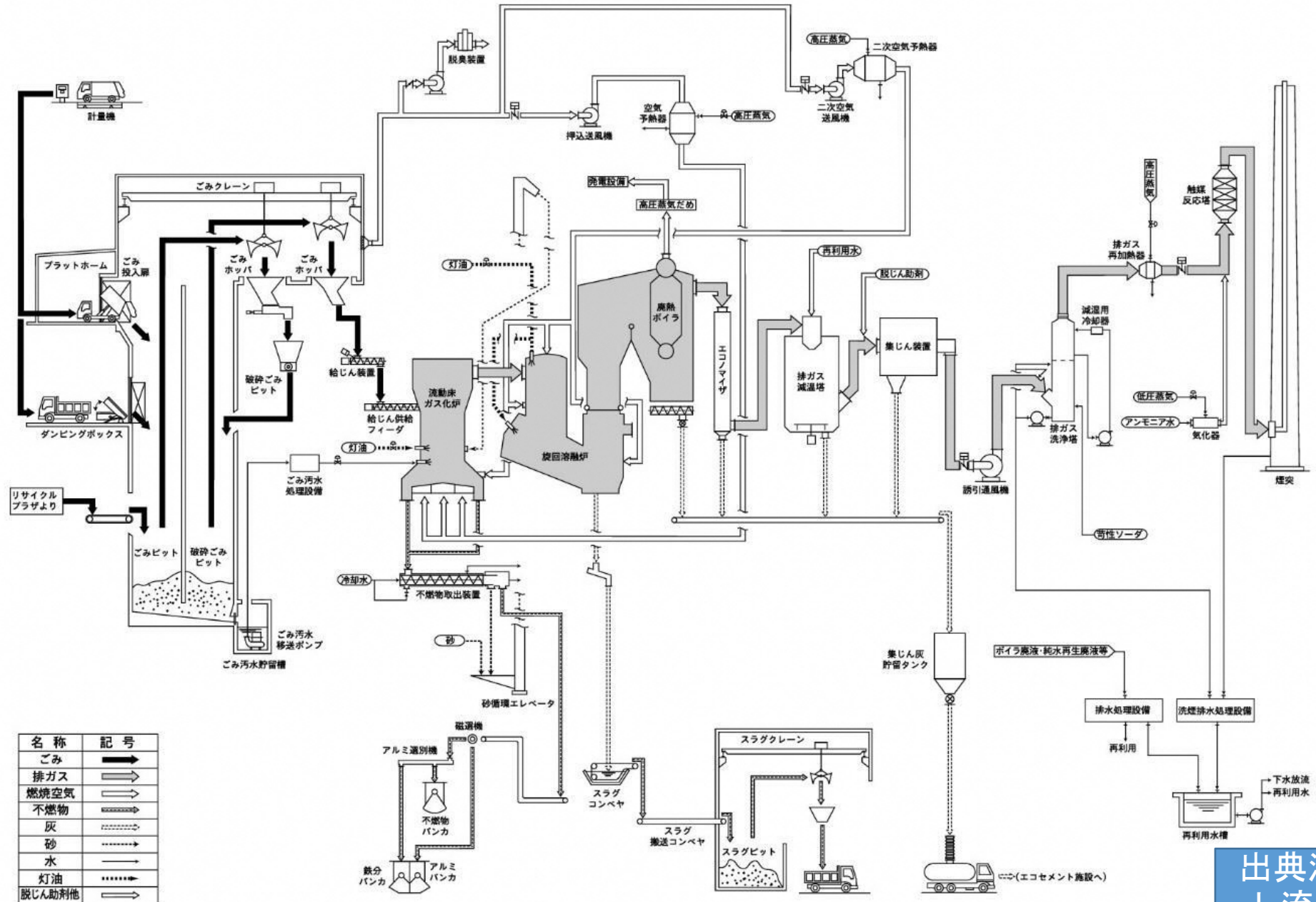
流山市クリーンセンター全体配置図



|(2) 流山市クリーンセンター

施設名称	流山市クリーンセンター	
所在地	流山市大字下花輪191番地	
敷地面積	全体敷地面積	約4.4ha
建築面積	ごみ焼却施設	5,798㎡
	リサイクルプラザ	5,262㎡
施設規模	ごみ焼却施設	207 t/日
	リサイクル館	57.1 t/日 (H26.1.21変更)
構造	ごみ焼却施設	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上5階・地下2階
	リサイクル館	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
	プラザ館	鉄骨造 地上3階
建設費	ごみ焼却施設	8,820,000千円
	リサイクルプラザ	2,572,500千円
工期	着工	平成13年8月
	竣工	平成16年2月

ごみ焼却施設フロー図



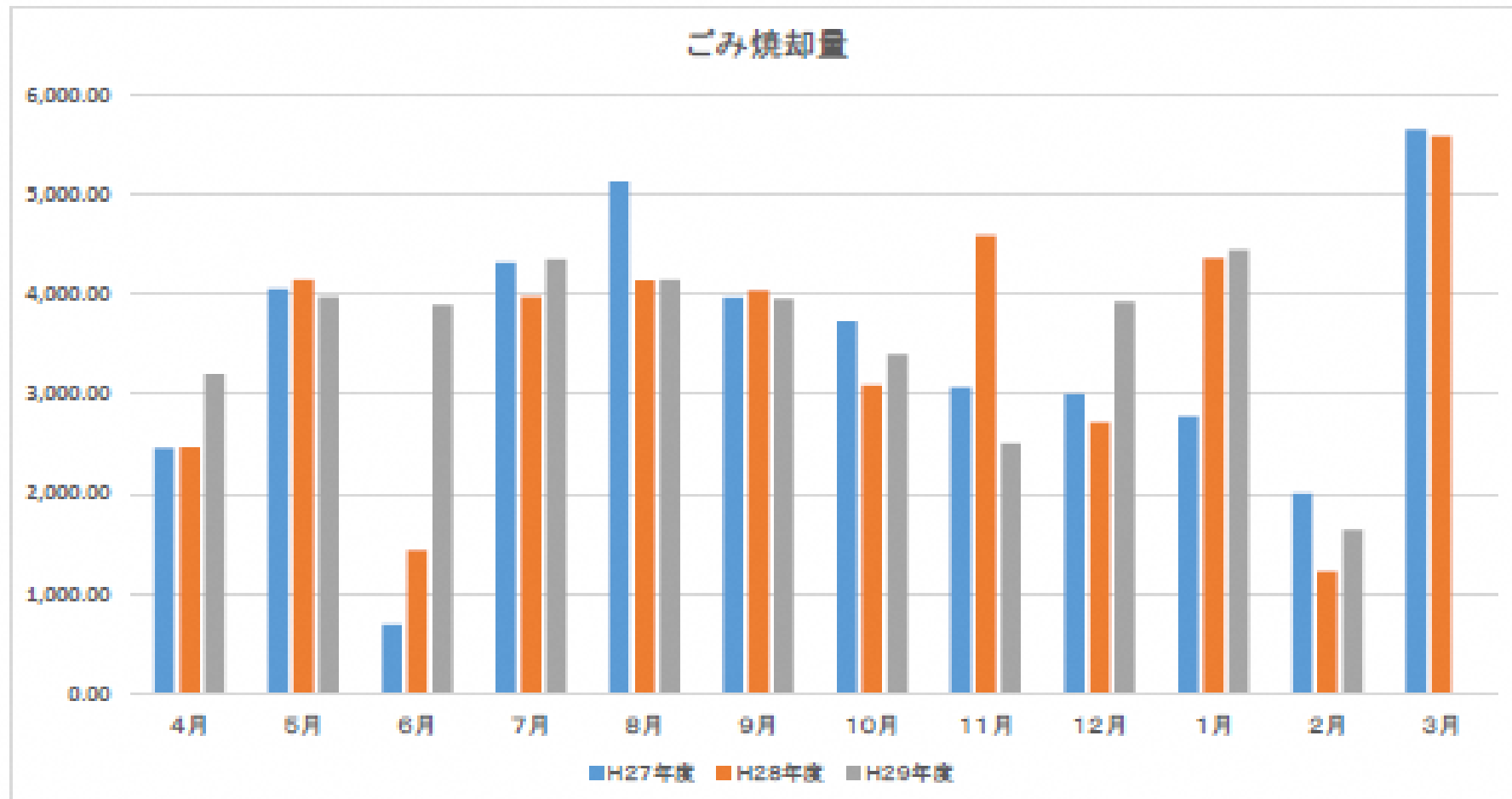
名称	記号
ごみ	→
排ガス	⇨
燃焼空気	⇨
不燃物	⇨
灰	⇨
砂	⇨
水	⇨
灯油	⇨
脱じん助剤	⇨

流山市のごみ焼却量

ごみ焼却量

(単位: t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
H27年度	2,461.85	4,054.18	689.08	4,314.13	5,125.28	3,966.17	3,725.69	3,067.25	3,000.08	2,774.28	2,003.89	5,649.93	40,831.81	3,402.65
H28年度	2,467.01	4,140.78	1,439.69	3,973.21	4,130.43	4,039.05	3,085.87	4,585.44	2,715.06	4,362.78	1,223.92	5,582.98	41,746.22	3,478.85
H29年度	3,201.74	3,972.14	3,889.64	4,345.82	4,137.65	3,949.74	3,396.85	2,506.66	3,923.99	4,440.54	1,643.45		39,408.22	3,582.57



生ごみの資源化

(1) 生ごみ肥料化処理機設置事業

生ごみの資源化を図るため、市内の小学校1校に業務用生ごみ処理機を設置し給食残さの肥料化モデル事業を実施していたが、平成21年度に小学校3校、平成23年度に1校に乾燥型の生ごみ処理機を設置した。乾燥処理物は肥料の原料として農家で使用する。

ア 設置の状況

(ア) 向小金小学校

設置場所	向小金小学校	
設置年月日	平成13年4月1日	
設置機種	メーカー	エスキー工機㈱
	形式	消滅型
	型式	ゴミサーG350
処理能力	35kg/日	
サイズ	1,635×1,300×1,320(mm)	
重量	350kg	
電源	100V	
槽内処理温度	35℃	
駆動装置	攪拌モーター(0.40kw)	



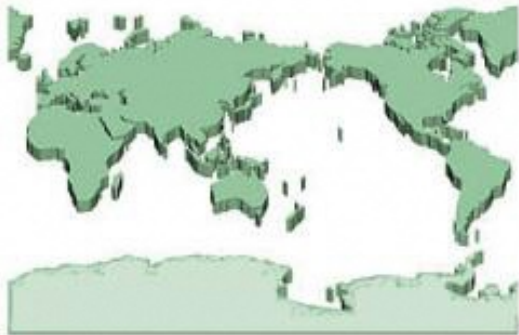
(イ) 八木南小学校、江戸川台小学校、南流山小学校、西深井小学校

設置場所	八木南小学校、江戸川台小学校、南流山小学校、西深井小学校 計4基	
設置年月日	平成22年3月31日 (西深井小学校は平成24年3月5日)	
設置機種	メーカー	高木産業(株)
	形式	乾燥式
	型式	PSK-21W
処理能力	20kg/回	
サイズ	W764×D783×H1,731(mm)	
重量	160kg	
電源	200V	



もったいない！食べられるのに捨てられる「食品ロスを減らそう」

世界の
食料援助量



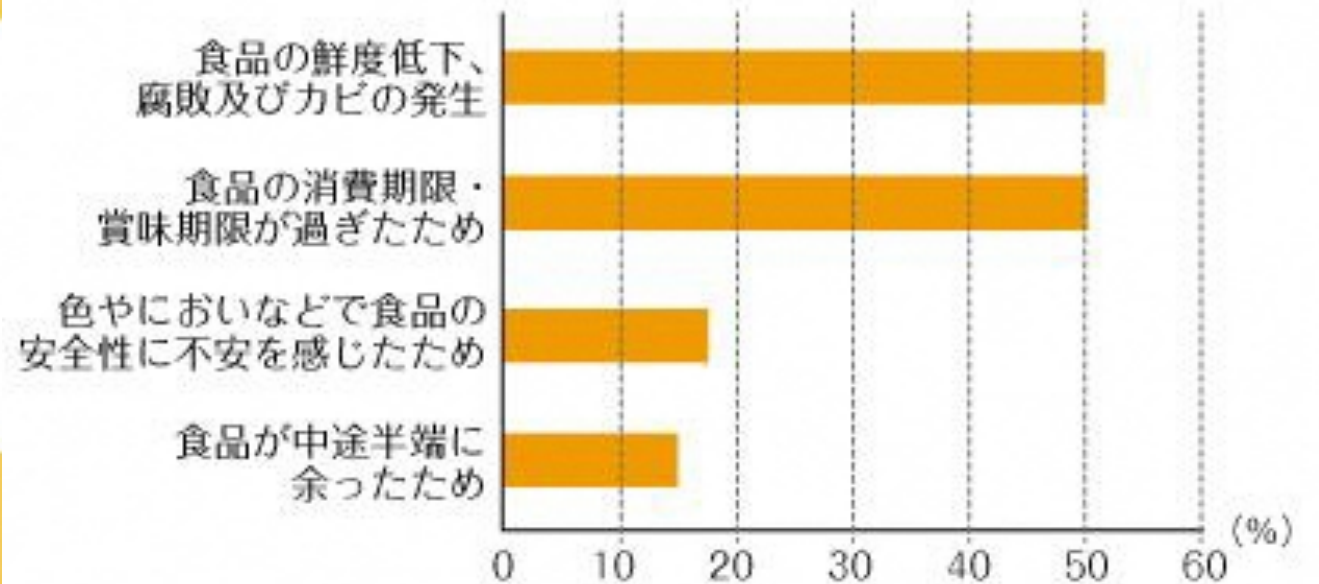
2014年
約320万トン

日本の
食品ロス



年間
約632万トン

食品を使用せずに廃棄した理由



食品ロスとなっているもの①

食品メーカー	定番カット食品や期限を超えた食品などの返品 製造過程で発生する印刷ミスなどの規格外品
小売店	新商品販売や規格変更に合わせて店頭から撤去された食品 期限を超えたなどで販売できなくなった在庫 など 客が食べ残した料理
レストランなどの飲食店	客に提供できなかった仕込み済みの食材など

発生量
約330万トン

食品ロスとなっているもの②

家庭

調理の際に食べら
れる部分を捨ててい
る
食べ残し

約302万トン

合計

冷蔵庫などに入れた
まま期限を超えた食
品 など

約632万トン

今日から実践! 食品ロス削減 家庭編

*食品ロスの削減…まだ食べられるのに廃棄される食品のこと。

“食べ残し 皮のむきすぎ 鮮度落ち”～食品ロスの原因～
「必要な量だけ購入」して
「食べ切る」ことが削減のポイントです。

買い物

事前に冷蔵庫内などをチェック

▶メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効

必要な食材をこまめにゲット

▶食品ロスが多いのは野菜などの生鮮食品
▶必要以上に買った場合は、冷凍保存も活用する

手前に陳列されている食品をチョイス

▶家庭での利用予定に照らして消費期限を確認しましょう。



調理

残っている食材から使う

▶「いつか食べる」食品は食品ロス予備軍

野菜や果物の皮は厚むきしない

▶生ゴミは減って、栄養は増える

食材を上手に食べ切る

▶定期的に冷蔵庫や収納庫を整理する日を決める
(例:毎月●日はあるものでお好み焼きデー)



もし、食べ切れなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくは下記URLへ
クックパッド消費者庁の公式キッチン

URL: <https://cookpad.com/kitchen/10421939>

*クックパッド(Cookpad)は、1998年3月にサービスを開始した日本最大の料理レシピ投稿・検索サイトです。
定額制料金は月額4,800円(税込)です。お問い合わせ先:03-6362-4747

事業者(製造、卸、小売)や地方公共団体も食品ロス削減に動き始めています。

地方公共団体 ▶ http://www.caa.go.jp/adjustments/index_11.html (消費者庁ウェブサイト)

事業者 ▶ http://www.maff.go.jp/j/hokusen/recycle/syoku_joisi/index.html (農林水産省ウェブサイト)

これらのアイデアを参考に、皆さんも自分にできることを考え、下の欄に書いてみましょう。

私の食品ロス削減チャレンジ 自由記帳欄

今日から実践! 食品ロス削減 宴会編

※食品ロスの削減…食べ残されるのを減らすこと。

宴会の食べ残し量は、ランチ・定食の5倍!

(平成21年度農林水産省「食品ロス削減啓発」)

食べ残しを減らすため、「食べ切りミッション」を始めよう。



ミッション① 宴会前

参加者の好みや食べ切れる量をチェック

▶ 店やメニュー選びに活用する

食べ切れる量のメニューをチョイス

▶ ハーフサイズ、少量コースなど、ちょうど良い料理の量を選ぶ



ミッション② 宴会中

コース料理提供時の例：キーワードは **30・10**

味わいタイム

- ▶ 乾杯後 **30** 分間は料理を楽しむ
- ▶ 料理はできたてを味わう



楽しみタイム

- ▶ 全員で会話を楽しめる
- ▶ 料理のこともしっかり楽しむ



食べ切りタイム

- ▶ お開き前の **10** 分間はもう一度料理を楽しむ
- ▶ 幹事は「食べ切り」を呼び掛ける
- ▶ 大量料理の残りは小分けにして食べやすくする



ミッション③ お開き時

おいしい料理とお店に感謝した後、
食べ切った仲間とハイタッチ

ミッション
完了!



地球にもやさしい「食べ切りミッション」の実践をお願いします。

世界では、約9人に1人が栄養不足です。(FAO「世界食糧展望」40年報告書(2017年))

国内の食品ロスの年間発生量(621万トン)は、世界全体の食料援助量(年産約320万トン)の約2倍に匹敵します。

(FAO資料「平成24年度」、農林水産省食料政策課「平成24年度報告」)

高齢者のごみ出しを巡る課題

【社会的な背景】

社会の高齢化

核家族化

地域の繋がり希薄化

【課題群】

高齢者の社会的孤立

ごみ出しが困難でありながら、
必要な支援が受けられない高齢者の増加

不適切なごみ出しをする

ごみ出しができなくなる

無理なごみ出しを続ける



収集に支障

遺品整理

近隣住民とのトラブル

生活上の不便

不衛生な住環境

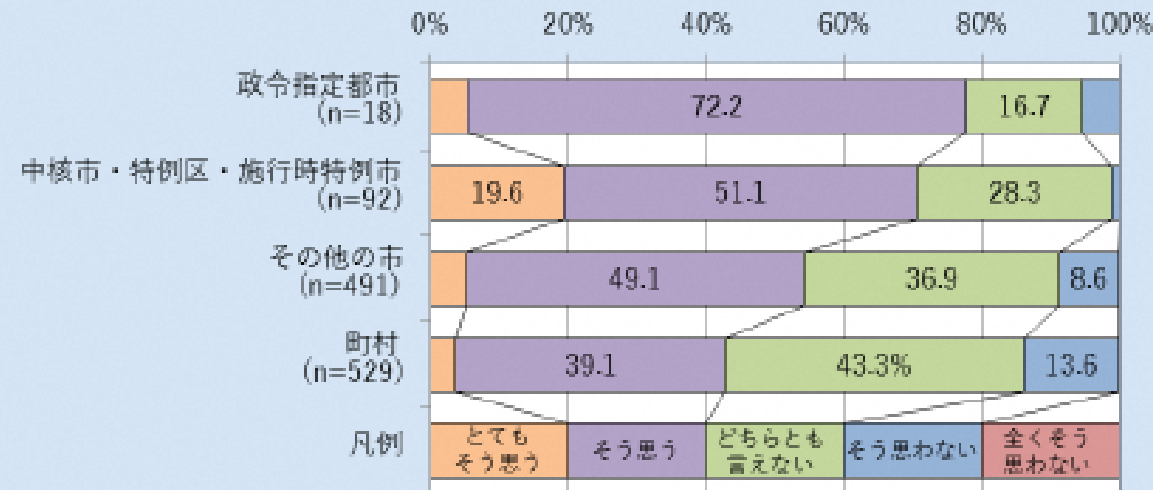
怪我のリスク

ごみ屋敷

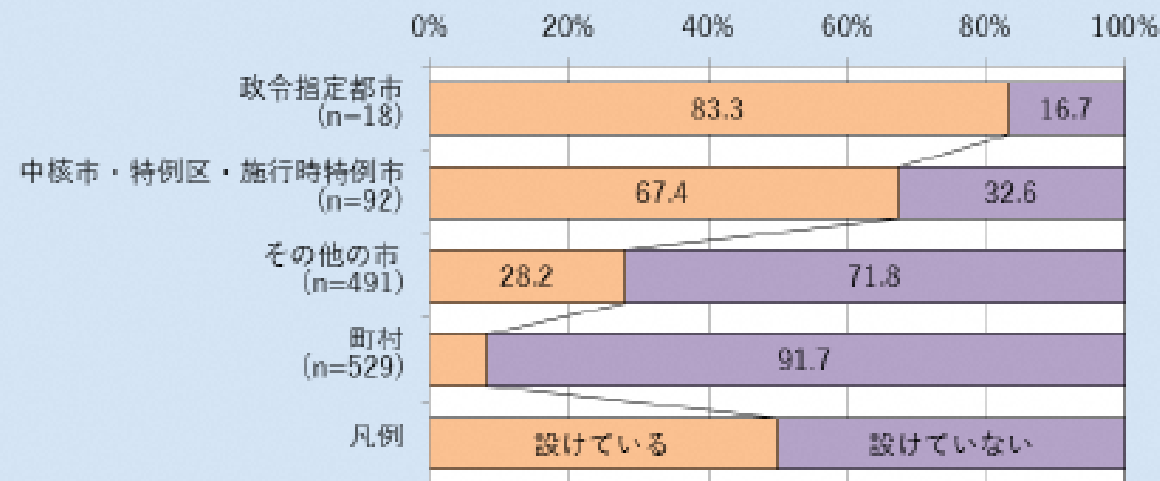
セルフ・ネグレクト

【廃棄物管理の課題】

【高齢者福祉の課題】

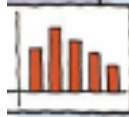


図A ごみ出しに困難を抱える高齢者が多くいると思うか（自治体類型別）



図B 高齢者ごみ出し支援制度を設けているか（自治体類型別）

自治体で実感されている効果



データ2 自治体で実感されている効果

ごみ出し支援を行っている自治体に、支援を通じて実感している効果を尋ねたところ、「高齢者世帯から確実にごみ・資源物を収集できるようになった」、「ごみ屋敷の未然防止に繋がった」という廃棄物管理上の効果については、それぞれ43%、28%の自治体で認識されていました。一方、「高齢者世帯の生活の利便性が向上した」、「高齢者世帯の福祉が充実した」という高齢者福祉の効果については、それぞれ79%、59%とさらに多くの自治体で実感されていました。

他にも、地域の交流が深まったり、住んでいるひとの顔の見える地域づくりに寄与しているという効果も一部の自治体で認識されていました。やり方によって、様々な可能性のある取り組みであることがうかがえます。

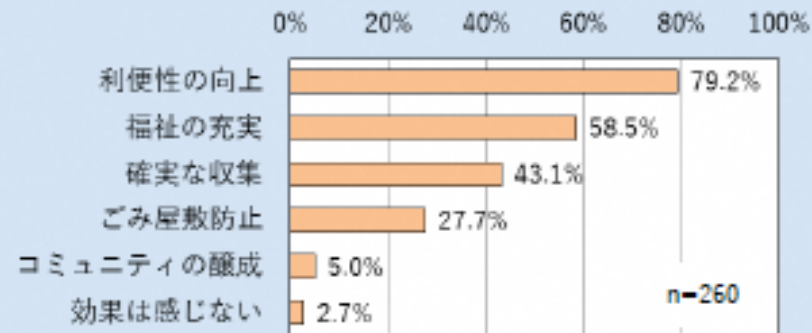


図 ごみ出し支援制度の効果として実感していること

流山市高齢者等ごみ出し支援事業のご案内

この事業は、高齢者世帯または独居老人の方で、集積所までごみを出すことができない事情を持つ方のごみ等を戸別収集することにより、在宅での生活を維持できるように支援するものです。

対象

ごみ出し支援事業を利用することができる方は、次の項目をすべて満たした方が対象になります。

- (1) 市内に居住する方
- (2) 自らごみ等をごみ集積所まで排出することが困難な方
- (3) ご近所の方や身内の方等、他にごみ出しの協力を得ることができない方
- (4) 次のいずれかに該当する方
 - ① 介護保険法に基づき要支援若しくは要介護と認定された方又は同等の状態と認められる方で、おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は65歳以上の方によって構成されている世帯
 - ② ひとり暮らしの障がい者又は障がい者のみで構成されている世帯

申込

申し込みは本人の自筆または親族等の代筆により申し込みができます。郵送でも受け付けます。
なお、同居者がいるときは同居者の分も提出してください。

添付書

- (1) 介護保険被保険者証(要介護度及び認定期間の記載があるページ)の写しを添付してください。
- (2) 身体障害者手帳(障害の程度などの記載があるページ)の写しを添付してください。
- (3) 障害福祉サービス受給者証の写しを添付してください。

※ 介護保険の認定の有効期間満了時、変更時には再調査を行います。

※ 障害福祉サービスの介護給付費の支給決定満了時、変更時には再調査を行います。

面談

現在の生活状況についてお聞きします。

- ・ごみの排出状況
- ・身体状況
- ・買い物や病院等の通院手段
- ・サービスなどの利用状況
- ・排出場所の確認

戸別収集開始

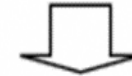
- ・指定された日に、排出場所(玄関前・門等)にごみを出す。

【問い合わせ先】

流山市環境部クリーンセンター
〒270-0174 流山市下花輪191
電話 04-7157-7411

【支援までの流れ】

「流山市高齢者等ごみ出し支援事業申込書」の提出



・面談の日程調整(電話連絡)
・面談



・可否の決定
・戸別収集開始

流山市高齢者ゴミ出し支援事業利用者内訳

資料18

利用者年齢層	
90代	31件
80代	61件
70代	20件
60代	11件
60代未満	5件
合計	128件

地区別利用者数	
北部	70件
東部	30件
南部	28件
合計	128件